

通信モジュール変更とご利用に関するお知らせ

2015年6月4日

◆通信モジュール変更のお知らせ

2015年6月よりHL320/330-DLSの通信モジュールがMC7700(シエラ ワイヤレス)からMC7330(シエラ ワイヤレス)に変更となりました。

なお、通信モジュールの違いによる寸法の変更はありません。

◆通信モジュール変更に伴うご利用方法の違いについて

【バージョンアップファイルに関するお知らせ】

通信モジュールの違いにより、ファームウェアが異なります。

ファームウェアに関する詳細は下記のバージョンアップページをご参照ください。

○HL320-DLS をご利用中のお客様

http://www.i-netd.co.jp/products/hsdpa/hl320-dls/ver_up.htm

○HL330-DLS をご利用中のお客様

http://www.i-netd.co.jp/products/hsdpa/hl330-dls/ver_up.htm

上記のため、バージョンアップを行う前に必ず通信モジュールの確認を行い、対応したバージョンアップファイルをダウンロードしていただく必要があります。

※ 間違った通信モジュールのバージョンアップファイルを使用した場合、正常な動作を行わなくなる恐れがあります。

※ 通信モジュールやバージョンアップファイルについて、確認事項・質問事項がございましたら弊社へお問い合わせください。

【対応アンテナに関するお知らせ】

通信モジュールの違いにより、対応するアンテナが異なります。

下記を参照いただき、使用する通信モジュールに対応したアンテナを使用してください。

通信モジュールがMC7700の場合

- ・ IMT-2000 小型アンテナ(821B-2.5-SMAP):サガ電子工業株式会社
- ・ FOMA アダプタ用ルーフトップアンテナ:NTTドコモ株式会社
- ・ FOMA アダプタ用小型防滴アンテナ:NTTドコモ株式会社

通信モジュールがMC7330の場合

- ・ M2M用LTE/3G対応ケース内蔵アンテナ(FMM800W-4-5M-BP):日精株式会社

【 ご利用可能なサービスに関するお知らせ 】

通信モジュールの違いにより、ご利用可能なサービスが異なります。

ご契約前に必ず下記を参照いただき、ご利用可能なサービスの契約をお願い致します。

通信モジュールが MC7700 の場合

- ・ LTE タイプ データ通信プラン
 - ・ LTE タイプ MVNO データ通信プラン
 - ・ FOMA タイプ データ通信プラン(ファームウェアバージョン 1.02 以降)・・・※
 - ・ FOMA タイプ MVNO データ通信プラン(ファームウェアバージョン 1.02 以降)・・・※
- ※ 無線モードを“WCDMA 固定モード”にする必要があります。

通信モジュールが MC7330 の場合

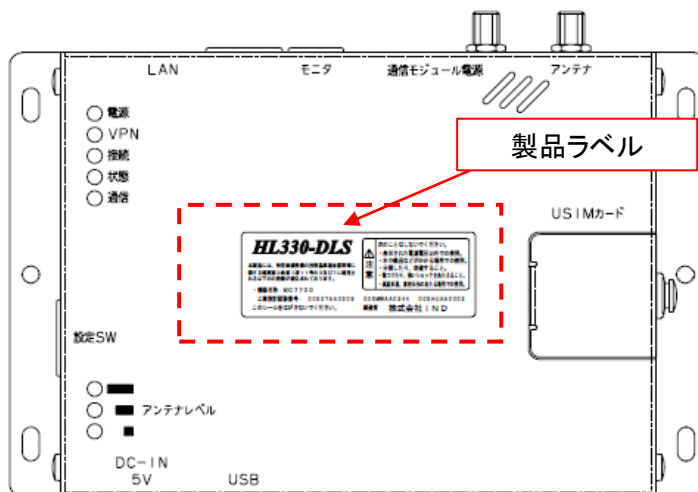
- ・ LTE タイプ データ通信プラン
- ・ LTE タイプ MVNO データ通信プラン

上記の通り、通信モジュール:MC7330 が組込まれている場合、FOMA タイプ データ通信プラン(MVNO を含む)は利用できませんので、十分ご注意ください。

◆通信モジュール確認方法

【 製品ラベルによる確認 】

筐体上部の製品ラベルに記述されている機器名称にて通信モジュールの確認が行えます。



OMC7700 が組込まれている場合

| | |
|---|--|
| <h2>HL320-DLS</h2> <p>本製品には、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則第2条第1項11号の3及び7に規定される以下の設備が組込まれております。</p> <p>・機器名称：MC7700 工事設計認証番号：005XYAA0309 このシールをはがさないでください。</p> | <p>次のことはしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・表示された電源電圧以外での使用。・水や薬品などがかかる場所での使用。・分解したり、改造すること。・傷つけたり、強いショックをあたえること。・高温多湿、直射日光のあたる場所での使用。 <p>注意</p> |
| 005MWAA0244 005HUA0002 製造者 株式会社 i N D | |

| | |
|---|--|
| <h2>HL330-DLS</h2> <p>本製品には、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則第2条第1項11号の3及び7に規定される以下の設備が組込まれております。</p> <p>・機器名称：MC7700 工事設計認証番号：005XYAA0309 このシールをはがさないでください。</p> | <p>次のことはしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・表示された電源電圧以外での使用。・水や薬品などがかかる場所での使用。・分解したり、改造すること。・傷つけたり、強いショックをあたえること。・高温多湿、直射日光のあたる場所での使用。 <p>注意</p> |
| 005MWAA0244 005HUA0002 製造者 株式会社 i N D | |

MC7700 が組込まれている場合は、ラベル上に機器名称:MC7700 と記載があります。
→ “MC7700”用のバージョンアップファイルを使用してください。

OMC7330 が組込まれている場合

| | |
|---|--|
| <h2>HL320-DLS</h2> <p>本製品には、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則第2条第1項11号の3、7及び19に規定される以下の設備が組込まれております。</p> <p>・機器名称：MC7330 工事設計認証番号：003-140092 このシールをはがさないでください。</p> | <p>次のことはしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・表示された電源電圧以外での使用。・水や薬品などがかかる場所での使用。・分解したり、改造すること。・傷つけたり、強いショックをあたえること。・高温多湿、直射日光のあたる場所での使用。 <p>注意</p> |
| 005-100567 製造者 株式会社 i N D | |

| | |
|---|--|
| <h2>HL330-DLS</h2> <p>本製品には、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則第2条第1項11号の3、7及び19に規定される以下の設備が組込まれております。</p> <p>・機器名称：MC7330 工事設計認証番号：003-140092 このシールをはがさないでください。</p> | <p>次のことはしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・表示された電源電圧以外での使用。・水や薬品などがかかる場所での使用。・分解したり、改造すること。・傷つけたり、強いショックをあたえること。・高温多湿、直射日光のあたる場所での使用。 <p>注意</p> |
| 005-100567 製造者 株式会社 i N D | |

MC7330 が組込まれている場合は、ラベル上に機器名称:MC7330 と記載があります。
→ “MC7330”用のバージョンアップファイルを使用してください。

【 設定画面による確認 】

WEB 設定画面にログインして頂き、本体設定:バージョンにてファームウェアバージョンを確認することで通信モジュールの確認が行えます。

※本方法で確認を行う場合、必ずバージョンアップ前に確認していただく必要があります。

OMC7700 が組込まれている場合

下記のように記載されている場合、MC7700 が組込まれています。

→ “MC7700”用のバージョンアップファイルを使用してください。

The screenshot shows a web interface titled "本体設定" (Main Settings). At the top left is a button labeled "仮保存" (Temporary Save). Below it is a table with the following fields:

| | |
|-------|-------------|
| 本体型番 | HL330-DLS |
| 製造番号 | [REDACTED] |
| バージョン | 1.03 (k1.2) |
| ホスト名 | ind_hl330 |

The "バージョン" (Version) field is highlighted with a red dashed border.

例) バージョン : 1.** (k1.2)

カーネルバージョン

本体バージョン

※本体バージョンの横に“t”の表記がないこと

※カーネルバージョンが 1.2 になっていること

OMC7330 が組込まれている場合

下記のように記載されている場合、MC7330 が組込まれています。

→ “MC7330”用のバージョンアップファイルを使用してください。

The screenshot shows a web interface titled "本体設定" (Main Settings). At the top left is a button labeled "仮保存" (Temporary Save). Below it is a table with the following fields:

| | |
|-------|--------------|
| 本体型番 | HL330-DLS |
| 製造番号 | [REDACTED] |
| バージョン | 2.01t (k3.0) |
| ホスト名 | ind_hl330 |

The "バージョン" (Version) field is highlighted with a red dashed border.

例) バージョン : 2.**t (k3.0)

カーネルバージョン

本体バージョン

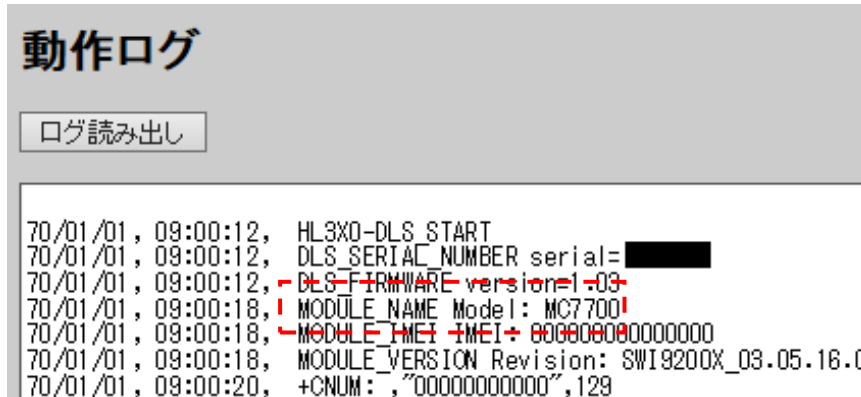
※本体バージョンの横に“t”の表記があること

※カーネルバージョンが 3.0 になっていること

【 動作ログによる確認 】

WEB 設定画面にログインして頂き、動作ログにて通信モジュールの確認が行えます。

OMC7700 が組込まれている場合



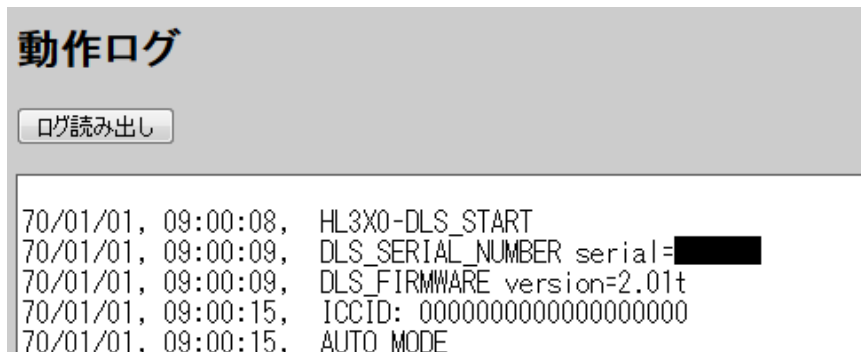
```
動作ログ
ログ読み出し

70/01/01, 09:00:12, HL3X0-DLS_START
70/01/01, 09:00:12, DLS_SERIAL_NUMBER serial=
70/01/01, 09:00:12, DLS_FIRMWARE version=1.03
70/01/01, 09:00:18, MODULE_NAME Model: MC7700
70/01/01, 09:00:18, MODULE_ICCID ICCID: 0000000000000000
70/01/01, 09:00:18, MODULE_VERSION Revision: SWI9200X_03.05.16.0
70/01/01, 09:00:20, +CNUM: ",000000000000",129
```

上記の様に、“MODULE_NAME Model: MC7700”と表示される場合は MC7700 が組込まれています。

→ “MC7700”用のバージョンアップファイルを使用してください。

OMC7330 が組込まれている場合



```
動作ログ
ログ読み出し

70/01/01, 09:00:08, HL3X0-DLS_START
70/01/01, 09:00:09, DLS_SERIAL_NUMBER serial=
70/01/01, 09:00:09, DLS_FIRMWARE version=2.01t
70/01/01, 09:00:15, ICCID: 00000000000000000000
70/01/01, 09:00:15, AUTO_MODE
```

上記の様に、動作ログ上にモジュールの名前が記載されていない場合は MC7330 が組込まれています。

→ “MC7330”用のバージョンアップファイルを使用してください。

<動作ログに関する注意事項>

動作ログページには 100 行分のログが表示されますが、それ以降は古いものから順に表示されなくなります。このため、長時間連続で動作されている場合、動作ログページにログが表示されないことがあります。この場合はログ読み出しにて cvs ファイルをダウンロードし、内容を確認して頂く必要があります。